【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年11月15日(2023.11.15)

【国際公開番号】WO2023/112613
【出願番号】特願2023-515768(P2023-515768)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/256(2021.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/256110

【手続補正書】
【提出日】令和5年3月9日(2023.3.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被験者の頭部に装着されるフレームと、
前記頭部に接触する電極部と、
前記フレームに取り付けられた、前記電極部が取り付けられる伸縮性の電極固定部材と、
を有し、
前記フレームが前記頭部に装着されて前記電極部が前記頭部に押し当てられたときに、前記電極固定部材は前記頭部の形状に沿って伸長する、脳波測定装置。
【請求項２】
前記電極固定部材は伸縮性のシート材を有する、請求項１に記載の脳波測定装置。
【請求項３】
前記電極固定部材は伸縮性のバンド部材を有する、請求項１または２に記載の脳波測定装置。
【請求項４】
前記電極固定部材の伸縮状態を調整して前記電極固定部材を前記フレームに取り付ける固定調整部を有する、請求項２に記載の脳波測定装置。
【請求項５】
前記固定調整部は、
前記フレームに設けられ、前記電極固定部材の一部を挿通する挿通部と、
前記挿通部に挿通された前記電極固定部材を前記フレームに固定する固定部と、
を有する、請求項４に記載の脳波測定装置。
【請求項６】
前記電極固定部材は、前記フレームに対して脱着可能であって、取り付け位置が調整可能である、請求項１または２に記載の脳波測定装置。
【請求項７】
前記電極固定部材と前記フレームとは一体に設けられている、請求項１または２に記載の脳波測定装置。
【請求項８】
前記電極固定部材において伸縮する部分はシリコーンゴムを有して設けられている、請求項１または２に記載の脳波測定装置。
【請求項９】

前記フレームの頭囲方向の装着状態を調整する装着調整部を備える、請求項１または２に記載の脳波測定装置。

【請求項１０】

前記電極固定部材は、前記フレーム間の開口を塞ぐように設けられている、請求項２に記載の脳波測定装置。

【請求項１１】

請求項１または２に記載の脳波測定装置を被験者の頭部に装着して脳波測定を行う脳波測定方法。